

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	7	課題区分	C	令和5年3月14日	
横断的な課題		人口減少下における広域連携の推進						
地域重点政策		人口減少下における人材の確保 起業・就業支援						
実施機関		木曽地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名		社会的起業支援事業				電話	8-238-2245	
						E-mail	kisochi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域の活性化と地域課題の解決につなげると共に、起業しやすい地域づくりを進めることで、木曽地域で起業を目指す方への支援を行う。						
	現状と課題	○少子高齢化等により人口減少が進み、地域の活力の維持が課題となっている中で、木曽地域で起業しようとする方に対し、よりきめ細かな支援が必要となっている。 ○受講者が経営を軌道にのせていくための、専門的かつ継続的な支援が課題となっている。						
	内容 (変更後の内容)	R1から起業塾を実施しており、これまでに、受講者42名、修了者37名の参加があった。参加者の中から4名が起業している。起業する者がさらに増え、より起業しやすい地域としていくために、R4も引き続き新規の希望者に対し研修会を開催するとともに、修了生へのフォローアップを実施し、起業における相談や情報共有の場をつくる。また、管内商工会とも連携し、地域の支援サービスにつなげていく。 ○研修会、個別相談会の開催 女性や若者を中心に木曽地域で新たな事業やサービス等をはじめようと考えている人を対象に、長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センターの教授による起業マインドを高めるための研修会(年3回を予定)や個別相談会(年2回を予定)を開催し、起業に向けた心構えやノウハウを学んでもらう。 ○フォローアップ講座の実施 修了生に対するフォローアップ講座を実施し(年1回を予定)、地域の活性化や地域課題の解決につながる起業を支援する。 ○管内商工会と連携しての継続的支援 研修会、個別相談会及びフォローアップ講座等の機会を捉えて、受講者が「死の谷※」を乗り越えられるよう、資金計画作成、帳簿の記帳等の専門的な知見を有する商工会の機能を紹介し、商工会の活用を促進することで専門的かつ継続的支援に繋げる。 ※「死の谷」:事業を成功させるまでに乗り越えなければならない関門の1つ。〈資金、人材〉						
	事業期間	令和4年6月 ～ 令和5年3月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考	
	起業に関する研修		研修会(3回)		113,680		謝金:76,800円 旅費:36,880円	
	修了者に対するフォローアップ		研修会(1回)		25,600		謝金:25,600円	
	研修会参加者、修了者を対象とした個別相談		個別相談会(2回)		16,000		謝金:16,000円	
	資料作成等		—		35,663		コピー代28,793円、会場使用料6,750円、郵送代120円	
合 計				190,943				
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況
	起業に関する研修会の参加者数			5名以上		19名		○ 達成 ● 一部達成 ○ 未達成
	起業に関する研修会受講者の満足度			8割以上		95%		
	フォローアップ講座の参加者数			15名以上		12名		
	フォローアップ講座受講者の満足度			8割以上		85%		
事業実績・成果	○ 起業塾は9月1日、15日、10月3日の日程で開催し、19名が参加、うち15名が修了した。 ○ フォローアップ講座は9月2日に開催し、R1からR3年度修了生に参加を呼びかけ、12名が参加した。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催が続いたが、3年ぶりに対面での開催を行った。木曽出身の県外在住者のオンライン受講希望にも柔軟に対応した。 ○ 町村商工会の連絡先及び支援策、各町村の創業支援策、よろず支援拠点等の県の創業支援策について、受講者へ案内を行い、各種支援機関の利用を促した。							
今後の方向性	修了生のフォローを通じて、地域の活性化や地域課題の解決につながる起業の環境づくりを推進するとともに、長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センター等と連携して、引き続き起業支援を実施する。							